

魅力ある

⑤

本質的な
問い

子供が興味をひく、魅力ある本質的な問い合わせる【重要】

③子供たちの実態・課題

授業者として、児童の実態を詳しく書く。
特にその教科について特性を書くことで
実態に即した授業に近づける

④活用できる知識・技能

今まででの知識技能の中で授業中に活用
できるものを洗い出す。授業者が理解して
おくことで学びをつなげる

実態に即す

⑧活動内容

導入

「子供たちの実態」や「活用できる知識・技能」、「手だて」、「学び方ツール」を子供の思考の流れに合わせて効果的に活用する。子供の脳が動く【能(脳)動的な学び】を念頭に置いた本時案を検討する。
本時の展開をわかりやすく示すことで指導案検討時・授業研究会時にスムーズに授業者の意図が伝わる。

展開

まとめ

手だての工夫

⑥ねらいにせまる手だて

本時ねらいを基にした【手だて】をいくつか挙げる。

能(脳)
動的
活動

⑦授業で活用する学び方ツール

子供の思考を促し、整理し、発表させる。
思考分析ツールの活用【独自開発】
須影 BASIC 教師版を基準とした授業改善。

①

本時のねらい

その時間で子供に学ばせたい内容（ねらい）を
まず調べ記入する

②評価

◎本時のねらいが達成できたかどうかを評価し、確認し次の指導に活かす。

知識のつながり

ツールの活用

魅力ある

⑤

本質的な問い合わせ

根から取り入れられた水の通り道を解明せよ！

③子供たちの実態・課題

新しいことに対する興味は非常に高く、観察する方法を助言すると多くの児童が実際に調べたり、比べたりしている。しかし、その思考に対する表現では、語彙力や文章力に課題がありうまく言葉で表現できない児童が多い。そこで絵やそのまわりに短い言葉で観察結果を表していく方法を4月から指導した。これにより自分の考えや発見をわかりやすく記録することができるようになってきている。

④活用できる知識・技能

- ・1～5年までの植物を育てた経験
- ・水をあげないとしおれてしまう経験
- ・動物の体の中は血液が流れ、全身に酸素や栄養が運搬されているという学習
- ・根から水を吸い上げるという知識
- ・水は蒸発すると目には見えない水蒸気になる

⑧活動内容

実態に即す

手だての工夫

前時導入

植物を入れたビーカーの中の水の減りが、何もしていないビーカーよりも早いことに気付かせる⇒「消えた水に興味を持たせる」

小単元を貫く課題 「ビーカーの水はどこへ消えたのだろうか？」

- ・今までの知識を使い解決の手がかりを考える
植物が吸い上げた(植物の体の中でたまっている?) 蒸発した(何もしないビーカーと比較)
- ・どのように検証していくか考えていく。

展開

ビーカーの水に色をつけて植物の体内を調べてみよう 茎

→植物の体内に管がありそうだ。・・・仮説管を通って全体に広がっている?

本時

仮説からの予想を確認

ビーカーの水に色をつけて植物の体内を調べてみよう 葉・根

タブレットを活用した結果の相互説明(手だてⅢ) 須影 Basic 活用
実験結果をもとにした今日の学習問題の答え(考察)の個人内思考
シェアタイムによる個人内思考の共有と思考の整理・再構成

(クラゲチャート活用)
(手立てⅣ)

適用

文脈をずらした実験(手だてⅡ) ①シン ②セロリ ③白菜



⑥ねらいにせまる手だて

- 子供の思考による学習問題の形成
- 文脈をずらした実験設定と相互説明
- タブレットを活用した(相互)説明活動
- 学び方ツールによる子供たちの思考の整理

本時のねらい

①

- ・着色した水で染まった根、茎、葉などの様子を観察し、その結果を記録する。
【技能】
- ・植物の根から取り入れられた水は、体の中の決まった通り道を通って体全体に運ばれ葉から水蒸気として排出されると推論し、表現する。【科学的思考・表現】

能(脳)動的学習

⑦授業で活用する学び方ツール

- ・相互説明(意図的に違う実験を行い結果を説明)
- ・思考のシェアタイムの充実
- ・タブレット端末の活用(説明の根拠)
- ・須影 Basic(児童版)の活用
- ・思考整理シート(クラゲチャート)の活用

②評価

- ・着色した水で染まった根、茎、葉などの様子を観察し、その結果を記録している。【技能】
- ・植物の根から取り入れられた水は、体の中の決まった通り道を通って体全体に運ばれ葉から水蒸気として排出されると推論し、説明したり記録したりしている。【科学的思考・表現】

知識のつながり

ツールの活用